

Nobeyama 45-m Telescope, 1982

In 1982, the Tokyo Astronomical Observatory in collaboration with Mitsubishi Electric Corporation completed the 45-m telescope as the world's largest antenna for millimeter-wave radio astronomy. The 45-m telescope's innovative engineering contributed to the progress of radio astronomy by enabling high-resolution and high-sensitivity observations. Notable discoveries included new interstellar molecules and a black hole.

June 2017

野辺山 45m 電波望遠鏡、1982 年

1982 年、東京天文台と三菱電機はミリ波帯の観測用としては世界最大級の 45m 電波望遠鏡を共同開発しました。45m 電波望遠鏡の用いた革新的技術により高分解能で高感度の観測を可能になり、新しい星間分子の検出やブラックホールの発見など、電波天文学の進歩に貢献しました。

2017 年 6 月

2017 年 6 月 14 日、「野辺山 45m 電波望遠鏡」の IEEE マイルストーン記念式典が、如水会館にて開催され、James A. Jefferies IEEE 次期会長より、林 正彦 国立天文台台長、柵山 正樹 三菱電機(株)社長に、業績を記した銘板が贈呈されました。銘板は、国立天文台 三鷹キャンパス(東京都三鷹市大沢 2-21-1)、同野辺山宇宙電波観測所(長野県南佐久郡南牧村野辺山 46-2)、三菱電機通信機製作所に展示されています。

**野辺山に設置された銘板****銘板と記念撮影**

(左から) 国立天文台台長 林 正彦、IEEE President-Elect Mr. James A. Jefferies、IEEE 東京支部 Chair 笹瀬 巖、三菱電機(株)社長 柵山 正樹

**野辺山 45m 電波望遠鏡****IEEE Milestone 認定の経過:**

- 2015 年 10 月 30 日 Proposal Form 提出
- 2016 年 8 月 29 日 Board of Directors 承認
- 2017 年 6 月 14 日 記念式典開催 (場所)如水会館

銘板設置場所: 国立天文台 三鷹キャンパス(東京都三鷹市大沢 2-21-1)
国立天文台 野辺山宇宙電波観測所(長野県南佐久郡南牧村野辺山 46-2)